



2018-19年度ガバナー
村井 総一郎



インスピレーションになろう

2018-19年度R.I.テーマ
R.I.会長 バリー・ラシン

Weekly report

例会日 第一・第三木曜 12:20-13:30
事務局 〒460-0008 名古屋市中区栄1-22-16ミナミ栄ビル402
例会場 TEL 052-253-7821/FAX 052-253-7820
ホテルナゴヤキャッスルホテル TEL 052-521-2121
〒451-8551 名古屋市中区樋の口町3番19号



第59回例会

2019年5月9日(木)

司会進行 不破直行 会場運営委員
「君が代」斉唱、「四つのテスト」唱和

会長挨拶

奥村 与幸 会長



こんにちは。
今日は、前回に続き、ロータリーソングのお話をします。まずは、前回のおさらいをします。「なぜ、ロータリーソングを唄うのか？」

- ・1905年にPaul.P.Harris氏が仲間3人と語らって作った「シカゴロータリークラブ」は、「親睦と物質的相互扶助(お金儲け)」を目的としていた。
- ・1908年に入会したArthur.F.Sheldon氏が「奉仕の理念」を提唱し、会の目的に加えた。
- ・その結果、全く異なる2つの理念により、会が混乱し出席率が低下するなど、会の存続が危ぶまれる危機に陥った。
- ・その時、初代親睦委員長のDr,William.R.Neff氏(当クラブの高木俊郎さんの写真)が、会員であるHarry.Ruggles氏(当クラブの樋口さんの写真)に、奉仕の話でクラブの雰囲気が悪くなったら、「歌を唄って欲しい」とお願いをした。そして、皆が歌を唄うことにより、童心にかえり友情を取り戻した。これが、ロータリーソングを唄う起源でした。

- 今日のお話は、
 - ・私たちが、今、唄っている「奉仕の理想」・「我らの生業様々なれど」などは、なぜ唄われることになったのでしょうか？
 - ・これらの歌詞の原語は、英語なのでしょう？
- 皆さん、どのように考えますか？

はい。今日の登場人物は、この方です。(マルホラン氏の写真)この方は、1914年—15年度の国際ロータリー会長のFrank.L.Mulholland(フランク.L.マルホラン)氏です。結果として、この方の発言により、現在、私たちが唄っている「奉仕の理想」・「我らの生業様々なれど」というロータリーソングが生まれました。1920年(大正9年)に、日本で始めて設立された「東京ロータリークラブ」では、アメリカのロータリークラブで唄われていた歌を、英語のままで唄っていました。したがってその後設立された日本のロータリークラブも含め、日本では、1935年(昭和10年)までは英語のロータリーソングを唄っていたようです。Frank.L.Mulholland氏は、1930年(昭和5年)に神戸で開催された第70地区大会にRI会長代理として出席するため、来日されました。その席上で、「私は、ロータリーは世界のロータリーであって、アメリカのロータリーではないと思う。したがって、アメリカナイズされることには、反対である。今、英語でロータリーソングが唄われたが、何故、日本語の歌を唄わないのか？」と尋ねたところ、「日本語の歌では、権威がない」との回答であった。「私は、各国におけるロータリークラブが、それぞれの国の風俗習慣によって行われることを希望する」と発言されました。この発言を受け、日本語によるロータリーソングを求める機運が高まり、1935年(昭和10年)に日本語によるロータリーソングのコンテストが行われ、同年5月5日に、京都で開催された地区大会で、東久邇宮殿下ご臨席の下に、新作のロータリーソングが発表されました。

入選作は、1位「旅は道連れ世は情け、情けは人のためならず」、2位「奉仕の理想」、3位「平和を世に植え、親愛の心はぐくむ」、4位「我らの生業様々なれど」
但し、1位の歌は、著作権侵害の事実が出たため、唄われなくなりました。これらの歌は、基本的には日本のロータリアンの作詞、作曲です。その後、1951年(昭和26年)「手に手つないで」、1953年(昭和28年)「それでこそロータリー」、1973年(昭和48年)「四つのテスト」が

生まれました。私としては、唄われなくなった第1位の「旅は道連れ世は情け、情けは人のためならず」が昭和の演歌歌手「三波春夫」さんが、唄う演歌のように思え、気になりました。(三波春夫さん写真または絵)そこで調べてみることにしました。残念ながら、メロディーは分かりませんでした。歌詞は見つけることができました。

- ・旅は道連れ 世は情け 情けは人のためならず
 - ・世は明鏡の 宿す影 うつつ形を 偽らず
 - ・わが ほほえめば 影もほほえむ
 - ・徳は弧ならず 隣あり 天人ともに これに和す
 - ・世は 日月の照らすが如く
 - ・影も光も依怙(えこ)ならず
 - ・わが行く道は 人も行く
- ちょっと演歌とは違うようですね。おしまい

出席報告

浅野慎之 出席委員長

	会員数	出席数	出席率
当日(5/9)	43	33	76.7%
前回(4/18)	42	27	64.3%
	会員数	修正出席数	修正出席率
前回(4/18)	42	42	100.0%

ニコボックス報告

浅野慎之 出席委員長

卓話させていただきます。

青少年奉仕担当 地区副幹事(豊橋RC) 佐藤裕彦 様
長女くるみの13才の誕生日です。

これからも明るく元気に育ってね。 不破直行
理事会の時間変更を失念していました。失礼しました。 奥村与幸

地区副幹事佐藤さんをお迎えて!!楽しみです!!よろしくお願ひ致します。

伊吹くん、入会おめでとう!! 鈴木拓将
佐藤さんの卓話をとても楽しみにしております。 大谷まさみ
元号が令和になりました。人々がつながって

平和な時代が続きますように。 遠山堯郎
令和初のニコボックス…私だと思ひ11:00にきましたが、酒井先生に負けました。惜しくて…次回の新元号の一番乗りを狙います。 下村孝爾
永い休みでした。令和第一号です！ 酒井俊皓
第59回例会を祝して

浅野信 現王園陽子 樋口昌男 堀場和孝
加藤謙一 河合秀紀 牧野敬充 水野紀孝
永田聡子 鈴木達央 高木俊郎 田中吉彦

R情報委員会より報告

鈴木達央 R情報委員

～「ロータリーの友」おすすめページ～

P4(P65)【愛があるなら叱りなさい】

シンクロの井村選手の記事について記載があります。本日、来年に開催されるオリンピックの観戦チケット申込日ということで選定致しました。前半には、現役活躍時の苦労話や、現代の子への指導を通して思う、アスリート目線からの熱い思いが書かれています。どの時代でも若い世代とのギャップはあると思います。是非ご一読ください。

RCC(NGUラブリッジ名古屋)より報告 担当：堀田崇 会員

4/21(日)のホームゲームに野村社会奉仕委員長と堀場RCC委員長が応援来ていただきました。ありがとうございました。おかげ様で3:0で勝つことができました。現在4連勝しております。このまま2部に上がりたいと思います。また、加藤ももという年代別の日本代表選手がおります。近い将来、なでしこジャパンに入る可能性がある将来有望な選手です。是非名前を覚えておいて頂けたら幸いです。それから、アカデミーという活動としても、恐らく7月の全国大会に出場できるのではないかと考えております。引き続き宜しくお願い致します。

新会員入会式 (伊吹洋平 会員)



青少年奉仕委員会より報告 大谷まさみ 青少年奉仕委員長

青少年奉仕についての前に、4/20(土)のスペシャルオリンピックス主催のジョギングフェスティバルにボランティアとして参加してきました。選手同士が励まし合いながら楽しそうに走っている姿に胸が打たれました。来年も開催されるそうなので、是非皆様ご参加ください。次に本題ですが、4/21(日)@アイプラザ一宮にてローターアクト研修協議会が開催され出席してきました。その時の様子を配布した資料に記載しております。今後、ローターを支えてくれるであろう若い方々の賢明に頑張っている姿を知る事ができました。こうして知ることも応援のひとつになるのではないかと思います。また、以前の奥村会長挨拶でもあったインターアクト、ローターアクト、青少年交換についても資料にて簡単に紹介しております。是非ご一読ください。

幹事報告

鈴木拓将 幹事

- 5月ローターレポート1\$ =112円
- 4/20(土)スペシャルオリンピックス第9回ジョギングフェスティバルが開催されました。参加者の皆様ありがとうございました。
- 4/23(火)に次年度予定者会が開催されました。出席者の皆様ありがとうございました。□
- 5/15(火)@名鉄グランドホテルにてクラブリーダー研修会議が開催されます。出席予定者の山下R情報委員長宜しくお願い致します。
- 5/28(火)18:00～戦略委員会の開催を予定しております。出欠未回答の方は至急事務局までご回答ください。
- 次回例会5/23(木)12:10～@名古屋東急ホテル4階「舞の間」会場のお間違えのないようお願い致します。例会後は次年度予定者会議を行います。次年度役員・理事・委員長の皆様宜しくお願い致します。
- 本日、例会前に定例理事会を開催いたしました。例会後に本次年度CA次年度予定者理事会を開催致します。
- 事務局の有給休暇について、5/16(木)～17(金)終日お休みを頂戴します。お休み中の連絡は幹事までお願い致します。

卓話「2760地区の青少年奉仕活動の現況」

青少年奉仕担当 地区副幹事 (豊橋RC) 佐藤裕彦 氏

本日は、青少年奉仕部門の歴史、4つの青少年奉仕プログラム、青少年奉仕活動を実際に見る事ができる地区全体事業、第2760地区クロスプロモーション、各プログラムの実態、またそれぞれのプログラムが抱える問題点についてお話したいと思います。

まずは簡単に歴史から話します。1929年にフランスのニースロータークラブが最初の交換留学を行ったのが始まりです。それから1959年に、オーストラリアのクイーンズランド州の独立100周年を記念して、英国女王と青年たちが交流をするプログラムを行いました。これがRYLAの起源にもなっております。1950年代後半に我々ロータリアンが青少年をサポートしていこうとなり、1962年にメルボルン高校で初めてのインターアクトクラブが発足しました。そして、1968年にローターアクトクラブが発足しました。1970年にはRI公式プログラムとして、青少年交換プログラムができ、1971年にRYLAがローターリーの正式プログラムとなり、4つのRI常設プログラムができました。それから、2010年に奉仕部門で新世代奉仕が誕生し、2013年に新世代が青少年に変わり現在に至ります。

次に、4つのプログラムが何をしているのかについて簡単に紹介します。

①【インターアクト】は、12歳から18歳が対象です。地区内では18クラブ(600名)あり、地区内の31クラブがサポートしております。子ども達がボランティア活動を企画・立案・運営していく中で、リーダーシップ力、思いやりの心を養う、家族の大切さを学ぶ、社会に活かされているという意識、国際理解を深めることを目標として活動しております。インターアクト単体としては、各高校、中学の部活動みたいなものです。活動内容は募金、清掃、福祉養護施設への訪問、震災復興活動などと様々な活動を行っております。提唱クラブとは合同例会を開いて勉強会などをしたり、地区ではもっと規模が大きくなり、年次大会やWFF、学友・青少年交流シンポジウムなどを開催しております。実は、彼らは運動部よりも楽かも？就活に役立つかも？などという動機から始めるのですが、実際に活動して

いると、「充実感を得た」、「社会との繋がりが大きく増えた」、「人の役にたつことが喜び」、「自分を認めてくれる人がいて嬉しい」、「人前で緊張せず、話せるようになった」、「ボランティアが身近になった」、「成長できた」、「様々なボランティア活動を知った」などと話します。

②【ローターアクト】は、18歳から30歳までが対象です。地区内では9クラブ(100名)あり、地区内の41クラブがサポートしております。リーダーシップや職業スキルを磨くこと、社会問題に対して何かできないかを考えて取り組んだり、奉仕活動を通して親睦を深めることを目的としております。活動内容としては、インターアクトクラブとほとんど同じになります。基本的には奉仕活動を通して親睦を深めているのが現状です。活動を通して、彼らからは、「全国で活動する仲間に出会えた」、「人脈が広がった」、「コミュニケーション能力がついた」、「人生が10倍は楽しくなった」などという嬉しい言葉をたくさん聞きます。ロータリアンの会社の新人研修として活用されることもあるそうです。現在100名程いるローターアクトの中で4～5組はローターアクト同士で結婚しているという実績もあります。少子化の日本にとって違う意味でもいい活動だと思えます。

③【RYLA】は、18歳から30歳までの青年男女が対象です。青少年を対象とする集中研修プログラムです。クラブや地区レベルで、ロータリアンが通常3日から10日間のセミナー、キャンプ、またはワークショップを主催します。青少年が企画して、青少年が行うということに重きを置いている為、過去のRYLA経験者10名程が中心となって運営しております。またRYLAに参加した青少年からも、「刺激を受けた」、「チームワークの大切さを学んだ」、「自信がもてた」、「指導について考えられるようになった」などという言葉が聞かれます。

④【青少年交換】は、15歳から19歳が対象です。8～9名程の1年間の交換留学を行っております。研修期間1年、留学1年、研修サポート1年で、当地区の特徴である3か年プログラムになっております。彼らの留学後の発表を聞くと、行く前の姿とは全く異なりとてもポジティブで明るく頼もしい姿になっていることが分かります。留学経験はこんなに人を変えるのかという程です。このような人の変化を見ることが、このプログラムのいいところだと思います。

実際に青少年とロータリアンが接することのできる行事が地区でいくつかございます。

- ・2019/6/16(日) 学友・青少年交流シンポジウム
- ・2019/10/12(土)・13(日) WFF
- ・2019/11/9(土) 青少年・学友フォーラム

是非ご参加頂ければと思います。

現在地区では、学友クロスプロモーションという財団の学友、米山の学友も一緒に交流会をしようというものに挑戦しております。しかし実態はなかなかうまくいきません。例えば、600名いたインターアクトがローターアクトになるのは5名程です。インターアクトの活動はボランティアが中心で、ローターアクトの活動は親睦が中心です。そのギャップがこの問題の原因となっている為、地区ではローターアクトの活動もボランティア中心の活動にしようという動きがあります。RYLAでは、クラブの予算がなく派遣ができない状況であったり、ロータリアンがそもそも活動内容を知らないこともあり、広報がうまくいかない為、参加者が集まらないなどという問題があります。地区では、青少年交換の予算を10名分組んでおります。しかし7～9名程で、ここ数年予算執行されておられません。これは、実はすごく勿体ないことで、このプログラム世界一安価な留学制度で30～40万円程あれば1年間の留学ができるのです。ただ、ホームステイの問題や、予算などローター側の問題で中々積極的に実現されない状況にあります。

最後になりますが、青少年との関わり方についてお話しさせていただきます。子どもたちと関われば関わるほど彼らの伸びしろは少なくなるような気がしております。できる限り自由度を高めて、彼らのやりたいようにやらせることが大切なのではないかと考えております。我々が危惧すべき危険性のある為、うまくバランスをとって関わっていくことに今一番気を付けております。

本日の卓話を通して、貴クラブが何かの形で未来ある青少年をサポートして頂けたらと思います。ご清聴ありがとうございました。

次回例会【第60回通常例会】

日 時： 6月6日(木) 12時10分～13時30分

(12時10分食事開始、12時30分点鐘)

会 場： ホテルナゴヤキャッスル1階「シャンホールの間」